

設備投資／キャッシュ・フロー分析

(3月31日に終了した各決算期)

設備投資額(支払ベース)

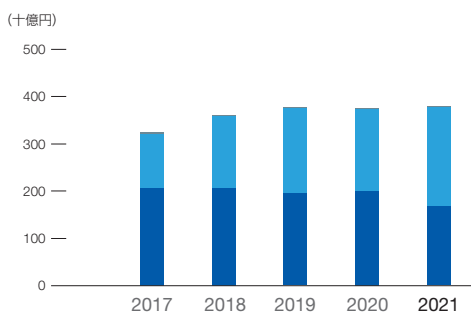
連結の設備投資額は、前期比129億円増の6,279億円となりました。

モバイル

3,780億円

[前期比] **↑36億円増**

モバイルでは4G投資が減少した一方、5G投資が拡大したことにより、前期比36億円増の3,780億円となりました。



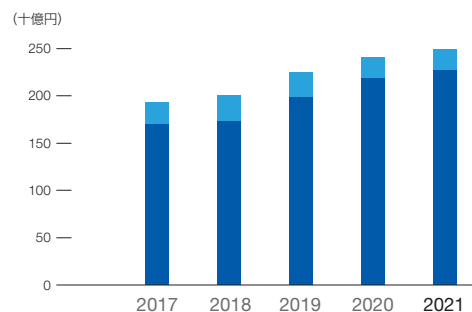
	2017	2018	2019	2020	2021
■ 3G	4	1	1	1	1
■ 4G LTE・5G	114	152	181	174	211
■ 共通設備他	207	207	195	200	167
合計	325	360	377	374	378

固定・その他

2,499億円

[前期比] **↑93億円増**

固定・その他ではFTTHの投資額は減少したものの、海外データセンター事業への投資が一時的に増えたことにより、前期比93億円増の2,499億円となりました。



	2017	2018	2019	2020	2021
■ FTTH	24	28	26	22	22
■ その他	170	173	199	219	228
合計	194	201	225	241	250

キャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー

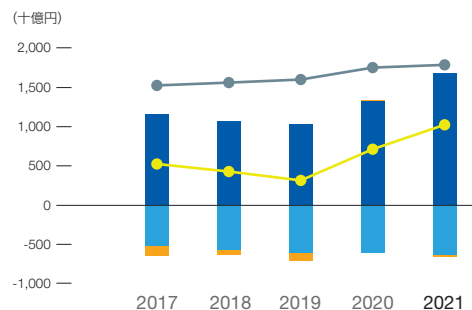
1兆232億円

[前期比] **↑3,108億円増**

営業活動によるキャッシュ・フローは、EBITDAの増加に加え、金融事業の影響による増加や割賦債権の減少による増加など一時的要因もあり、前期比3,588億円の収入増となる1兆6,822億円の収入となりました。

一方、投資活動によるキャッシュ・フローは、関連会社株式の取得による支出の減少はあったものの、設備投資の増加や金融事業による支出の増加、子会社の支配獲得による収入の減少などにより、前期比480億円の支出増となる6,589億円の支出となりました。

これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、前期比3,108億円増となる1兆232億円となりました。



	2017	2018	2019	2020	2021
● フリー・キャッシュ・フロー	524	428	315	712	1,023
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161	1,061	1,030	1,323	1,682
■ 設備投資	-519	-561	-602	-615	-628
■ その他投資キャッシュ・フロー	-118	-73	-113	4	-31
● EBITDA	1,524	1,560	1,599	1,751	1,786